

発行所 青森県高等学校・障害児学校教職員組合 青森市橋本1丁目2-25 教育会館 017(734)7287 編集発行人 酒田 孝 購読料一部20円は組合費の中に含む

○年度末特別カンパへのご協力をお願いします。組合活動を進める上で、皆様のご協力が不可欠です。よろしくお願いします。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://www.geocities.jp/aokokyoso/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

集いあい、語り合い、学びあい、子どもと学校

～あおもり教育のつどい2017in おおわに～

上に出る研
のカウンタ
ーなどの路
に、大学で
教員を目指
す学生たち
の指導にあ
たっている
方、いじめ
問題への
取り組み
や、ヘイト
スピーチへ
のカウンタ
ーなどの路
に出る研



全体講演

究者でもあります。講演は、「特別の教科「道徳科」の背景と特徴」「道徳科検定教科書の状況」「実践的な問題点」「私たちに問われているもの」「実践をどうする?」といった内容でした。

「道徳」の指導にあたって、教員としての私たちに「リテラシー」ももの見方・考え方」「社会の道徳性(正義・公平)に目を向けること」が求められています。好まなくても、検定教科書を使わなければなりません。既存教材を読み替える」「既存教材から発展させる」「自主教材を編成する」「学年学校段階一覧の内容とリンクさせる」ことで、実践に取り組むことが求められているのです。難しい教科ではありませんが、知恵と工夫をすることで「希望の教育」をすることも可能になると、熱く語ってくれました。

「道徳」の指導にあたって、教員としての私たちに「リテラシー」ももの見方・考え方」「社会の道徳性(正義・公平)に目を向けること」が求められています。好まなくても、検定教科書を使わなければなりません。既存教材を読み替える」「既存教材から発展させる」「自主教材を編成する」「学年学校段階一覧の内容とリンクさせる」ことで、実践に取り組むことが求められているのです。難しい教科ではありませんが、知恵と工夫をすることで「希望の教育」をすることも可能になると、熱く語ってくれました。

11月11日(12日、大鰐温泉「不二やホテル」で、表記の集会が行われました。県内各地から、校種を超えて、2日間で延べ180名が集まりました。まず、渡辺雅之氏(大東文化大学)により、「どうする?始まる『道徳科』(いじめを乗り越える希望の教育を)」と題した全体講演があり、その後20の分科会(課題別8、教科別12)がひらかれ(2面参照)、日ごろの教育実践を交流するとともに、教育に携わる者として懇親を深めました。これからの教育実践に向けて、力を得た集会になりました。

坂道の風

▼「カメムシが大量発生するとその冬は大雪になる」という昔からの言い伝えがあります。言い伝えには調べてみると科学的根拠があることが多く、(ウサギ小屋にはゴキブリが寄り付かないという言い伝えでは、ウサギの尿にゴキブリに対する忌避物質が含まれていた科学的根拠)、一概に馬鹿にすることはできません。実際、東北地方や信越地方ではカメムシの大発生と大雪との因果関係が非公式ながら多くの人に周知されています。

▼カメムシと大雪にはどんな関係があるのか?カメムシは体内のセンサーでやがて訪れるであろう厳冬を察知すると、通常は枯れ木の下や土手の隙間などで越冬するが、生死に影響するような寒さの場合、民家などをより安全な越冬場所と認識し、家の周りなどにいつも以上に増して集まってきます。その結果、我々は普段よりも多くのカメムシを目撃するので、「今年の冬は大雪」と感じてきたのでしよう。こんな察知能力が欲しいですね!(K・A)

分科会報告

国語

国語分科会は8名の参加者でレポート3本の発表がありました。1本目は中学校の古典教材「平家物語」をオリジナルのワークシートを使って学ぶ実践の報告。2本目は青森県の誇る作家たちの文学碑保存の問題を通して自分の意見を確立させる取り組みのレポート。最後は、高校の進学クラスで「新聞のコラムで質問する」という週末課題の実践レポート。価値ある情報を選別するための読解力を実践的に身につけさせるという取り組みは大変刺激

社会科

的なものでした。和やかで内容の充実した実り多い分科会となりました。

社会科分科会では毎年「地域を教材化する」をテーマに、身近な地域の事象や歴史を取り上げ教材化し持ち寄っています。昨年からは弘前大学の小堀史朗先生に研究協力者として参加いただいています。

今年も奥入瀬川周辺の地形や土地利用や集落についての地理巡検のレポート「地域を発見するフィールドワーク」と、北海道矢白別の自衛隊矢白別演習場の反対の歴史についてのレポート「たまたかの歴史を刻む」矢白別平和盆踊り」について学習しました。フィールドワークのレポートでは、1960年代の六戸町での砂糖生産の歴史に関心が集まりました。自分が生活している地域を違う視点から発見し直すことの重要性を確認しました。

No image

外国語

No image

外国語科分科会では、「どうして英語を勉強するの？」に答える、「音声復唱教材の機微に触れる」、「ALTとの共同授業」という3つテーマでレポートが発表されました。

特に興味深かったのは1つ目のレポートで報告された、「英語(の授業)が好きな理由、嫌いな理由」についての生徒へのアンケート結果でした。このアンケート結果を参考に授業展開を考えれば、英語や英語の授業が好きな生徒をもっと増えるのではないかと思います。いずれのテーマについても各参加者から様々な事例や意見が出されとても有意義な協議となりました。

生活指導(高)

参加者は20名。ほとんどが高校教員。高校生の保護者も1名参加。約半数が私学の教員。レポートは3本。

①水産高校の課題研究「海で働く若者たち」その思いを知る」が「八戸圏域高校地域活動促進事業」に採用され、インタビュー形式で取材・調査活動を行っている取り組み。高校と

地域との連携や各高校での「課題研究」が話題になった。

②私立高校、採用7年目の国語の先生のホームルームのレポート。初担任で成績トップの生徒とその保護者対応で苦労したこと。現在は1年生担任。クラス開きで全員進級の旗印のもと、「担任の願い」を話し、生徒に向き合うレポート。

③マレーシア・マラヤ大

就学支援金処理のための加配臨時事務員配置せず、教育長県議会答弁

高等学校就学のため
の支援金(以下支援金)の事務処理のための臨時事務職員加配予算が使われていないことが松田県議(日本共産党)の9月議会質問で明らかになりました。

松田勝義県議・支援金実施に際して、国会の付帯決議では、「自治体や学校現場に相応の事務量が発生することを鑑み、そのための条件整備に努める」とし、事務作業量の増大に伴う現場の多忙化を防ぐため、支援金事務費交付金として、国から事務員の補充・

加配の予算が下りている。これにより各都道府県では、臨時事務職員を高校事務室に配置している。本県は高校事務室未配置で、現場からは多忙化解消を求める声が上がっている。

中村教育長・支給事務に要する費用について、支援金事務費交付金が都道府県に交付されている。対象経費は消耗品費、交通運搬費の他、臨時職員の配置に係る賃金などがあり、平成28年度においては、12006万円交付を受けている。当該交付金を活用した臨時職員の配置については、学校施設課内に2名配置し、県内公立高校に在学

その勤務形態や学生たちの様子についての報告。

No image

する生徒に対する支援金の支給、受給資格の消滅及び停止等の認定事務に係る補助を行っている。学校現場での支援金に関する事務処理として、保護者から提出された書類の取りまとめや審査を行っている。今後の学校への臨時職員配置については、他県の状況等を踏まえ、今後研究していく。

【高教組見解】臨時事務配置に毎年1000万円ほどの予算を使わず国に返している状態だが、「今後研究して」いくそうだ。担当者はなぜそうしているのかわからないと言っている。現場の事務職員多忙化解消のためにも、予算を正しく使い、臨時事務を現場に配置するように要求したい。

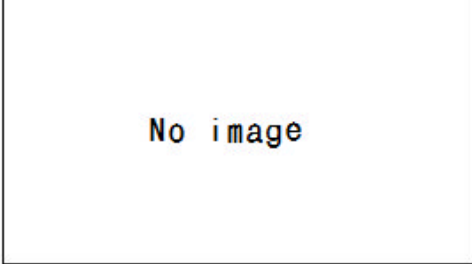
実習教員の待遇改善を目指して!

全教実教部北海道・東北ブロック学習交流集会

衆議院選挙期間中の、北海道白老町虎杖浜において表記の集會が開催され、3組織14名の参加のもと各道県の実況報告や意見を交わしました。

1日目は散策会を行い、アイヌ民族博物館ポロトコタンを見学しました。ポロトコタンとは、アイヌ語で「大きな集落」という意味であることを学び、アイヌのかやぶきの家(チセ)5棟を中心に、かつての集落

の様子やアイヌの伝統芸能、手工芸、衣食住など



各県の要求を確認した交流集会

平成29年度給与確定!

— 人事院勧告に倣い、超低額のアップ勧告 —

- ① 給料表水準引き上げ (400 ~ 1000 円)
- ② 勤勉手当の支給割合を引き上げ (4.05 → 4.20 月)

11月17日、県教委は各組合同に対して、平成29年度の給与について提案をしました。提案内容は、10月10日に出された青森県人事委員会勧告と同様のものでした(見出し参照)。また、この提案は給与、一時金に対するものだけであり、人事委員会勧告にあった、「教職員の長時間勤務問題」などについての提案は出ませんでした。さらに部活動手当の改善にも言及しないものとなりました。

県教組、日教組と共に交渉に臨みました。昨年より少額ながらアップ勧告であることは評価しながらも、一時金はまだ全国と差が大きいことや、教職員の労働状況に見合う給与ではないことなどを粘り強く伝えました。最終的には決裂となりましたが、県議会にそのまま提案されました。差額は年内に支給の予定です。

イヌの人たちの文化について学習しました。
2日目の分科会ではレポートを中心に「憲法が生かされる学校教育、実験・実習教育の実現」について、実践報告と熱心な意見交換がありました。全体会では各県の要求書を持ち寄り、実習教員の待遇改善や各県

Q 病休ってどんな時に使えますか?

病院に行くために病休を取ろうとしたら、同僚から病休は学校でケガした時しか取れないと聞きましたが本当ですか?

A 病気やケガで休む時に使えます

同僚の方はおそらく公務災害と混同しているのだと思います。

職員が負傷又は疾病のため療養する必要があること、その勤務しないことがやむを得ないと認められる場合、その原因に関係なく病気休暇(病休)を取得することができます。この場合の「疾病」には予防注射などによる発熱が、「療養」にはケガや病気が治ったあとのリハビリや妊娠に伴う「つわり」も含まれます。取得期間は通常90日以内ですが、脳卒中を含む高血圧症・心臓病・悪性腫瘍・精神疾患その他の慢性疾患および結核の場合は180日以内です。ただし、病気休暇を連続して取得する場合は期間の通算が行われるので注意が必要です。

つわりにも使えます

Q 診断書は必要ですか?
A 週休日を除き6日以内であれば診断書は必要ありません。通院の証明が必要な場合は、病院のレシートなどで代用ができます。療養も対象です。通院自体は必ずしも病休取得の条件ではありませんが、給料を

労働条件なるほど講座
もらいながら休むことに直接申し出ましょう。



習教員の人数が減らされてきている中、組織拡大を進めていくことの重要性が大きな課題であると実感させられた集會でした。

憲法9条改悪反対の 声を上げた中央集会

11月3・4日の中央行動に参加しました。3日は「安倍9条改悪NO! 全国市民アクション11・3国会包囲行動」憲法9条改悪に反対する国会包囲行動」の前段の有楽町マリオン前の宣伝行動と、国会包囲行動でした。集合地点にたどり着くのが大変なくらい物凄い人で、4万人が集まったようだ。民主的な各政党の代表からの発言などがあり

、安倍9条改悪NOの声を高らかに張り上げました。4日には、「変えちゃダメ憲法9条」憲法闘争交流集会2017」です。一ツ橋大学名誉教授の渡辺治氏の講演と各地の活動報告がありました。講演の中で渡辺先生は、5・3の安倍改憲提案のねらいを丁寧に解説されました。改憲を強行する切り札として9条加憲方式を採用したこ

No image

国会前で声を上げる参加者の皆さん(写真提供:全教)

相の解散・総選挙のねらいは、改憲勢力が8割に増え成功した半面立憲民主党の結党・躍進で共闘の継続という失敗の面もあることを学び、安倍改憲を阻むには3000万署名の意義を痛感しました。(弘前南高校分会須藤健二)

北欧、10万歩のキセキ

その3～デンマークの特別支援学校



デンマークの首都コペンハーゲンには4つの特別支援学校があるが、今回視察したのは、その中で最も歴史の古い学校であった。学校は、町中から離れた住宅街の中にあり、平屋の建物ながら、自然をうまく活用した様々な体験施設を持っている。児童施設としての機能も併せ持っているの

で、学校としての教育時間が終了後は、学童保育として同じ場所ですすが、関わる人が変わる。

児童生徒は85人で、6歳から15歳まで在籍し、認知能力や社会的能力が低い子どもたちが通っている。大人は90人で、ほぼマンツーマン体制となっている。学級は10クラスあり、各クラスに教員、指導員、アシスタントで構成されたチームがつく。教員と指導員の明確な線引きはないが、教員は教える、指導員は社会的な能力育成と捉えている。雇用は校長裁量(校長は市が雇用)で、人数や施設整備計画も校長が予算内(3600万クローネ)で決める。学校の運営システム上、校長の責任が大きくなっている。

デンマークでは、義務教育学校に関する法律の

No image

平屋ながら素敵な校舎。左は校長先生

No image

屋外には遊具がたくさん!

他、学ぶ内容や時間が学年で決まっており、教えずに、よい教科もある。3年までは週30時間、4・6年は週33時間、7・9年は週35時間の授業時間数で、他に社会的な状況下での学習も行う。具体的な指導計画は教員がたてることになるが、1人の教員が教えるのは週19時間。ミーティングを含めてもデンマークの教員は、17時には仕事を終えるという。子どもたちには個別指導が多いように感じたが、構造化も丁寧にされており、豊かな環境の下、のびのびと学習をしていたのが印象的であった。

デンマークは世界でも最も幸福な国として、教育や福祉も充実している(その分、消費税などの税金は高い)。特別支援教育でも教育環境の充実や教員の働き方など、日本とは大きく違っていた。子どもたちの学ぶ権利、教員の生活する権利を両立している姿に感動した。次号ではスウェーデンの特別支援学校について報告します。(黒沼修)

冬の全国学習交流集案内

①全教全国障害児学校 & 学級学習交流集会

期日:2018年1月6~8日
会場:奈良市
*古都奈良で、全国の仲間と交流しませんか?

②臨時教職員東日本ブロック学習交流集会

期日:2018年1月13~14日
会場:群馬県内
*臨時教職員仲間と交流しませんか?

③全教全国青年教職員学習交流集会「TANE!」

期日:2018年2月3~4日
会場:福島市飯坂温泉
*福島で、全国の青年と交流しませんか?

上記の集会には、組合から交通費、宿泊費の補助があります。お気軽に、高教組本部までお問い合わせください。



2017年 キャンペーン

教職員の日付けい【緑色共済】加入
または
自然災害も補償する【火災共済】加入
または
教職員の身分を守る【自動車保険】お見積もり

職場賞進全!

お二人で キャンペーン期間 2018年3月15日まで